

コンニャク(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	葉枯病	白絹病	根腐病	腐敗病	乾腐病	アブラムシ類	ネコブセンチュウ	
I C ボルドー66 DFL	M1		*m	-	◎			◎				
Z ボルドー水	M1		-	-	◎			◎				
クプロシールドFL	M1		*m	-	◎			◎				
コサイド3000DF	M1		-	-	◎							
ジーファイン水	NC・M1		1	-	◎							
スターナ水	31		*a 14	1 5				◎ ◎				
トップジンM粉DL ㊟	1		*a	1					◎			
ベンレート水㊟	1		*a	1					◎			
バシタック粉	7		*j	4		◎						
ランマンFL	21		14	3			◎					
リゾレックス水	14		30	3		◎						
トリフミン水	3		*a	1					◎			
キノドー水40	M1		30	8	◎			◎				
ユニフォーム粒	4・11		*g *e	1		◎	◎					
			30	1			◎					
			*a *i	1				◎ ◎	◎ ◎			
アタッキン水㊟	1・25		*a *i	1			◎ ◎	◎ ◎				
ドーマイシン水	25・M1		30	6	◎		◎	◎				
アグリマイシン-100水	25・41		*a	-				◎				
			30	6	◎			◎				
ナレート水	31・M1		21	5				◎				
スミチオン乳	1B		14	3						◎		
ネマトリンエース粒	1B		*c	1							◎	
アクタラ粒5	4A		*L	1						◎		
アドマイヤー顆水	4A	劇	21	2						◎		
アドマイヤー1粒	4A		*d	2							◎	
			*h	1							◎	
			*k	1								ワ
モスピラン粒	4A		*k	1						ワ		
コルト顆水	9B		1	3						◎		
ウララDF	29		7	2						◎		

㊟:チオファネートメチル含有剤 ㊟:ベニミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での
 ㊟は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く)。

*a:植付前 *c:植付前 *d:生育期(但し収穫21日前まで) *e:培土時

*g:植付時 *h:培土時(基根伸長期) *i:貯蔵前又は植付前

*j:植付時および生育期(但し収穫30日前まで) *k:培土時(出芽期)

*L:培土時(但し出芽前まで) *m:発病前～発病初期

ワ:ワタアブラムシ

コンニャク（野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
根腐病	植付時	1. 無病種いもを植付ける。 2. 圃場の排水を良好にする。 3. 土壌消毒する。（土壌消毒の項参照） 4. 次の薬剤を植溝土壌混和する。 ユニフォーム粒剤 9 kg/10a	
	生育期	・ 次の薬剤を株元灌注する。 ランマンフロアブル 500～1000倍液 3L/m ²	
腐敗病・ 葉枯病	植付前	・ 無病種いもを植え付ける。	高温多湿時において 茎葉に傷害を受けた場合 に多発となるので、 台風通過後は薬剤を散布 する。 ストマイ剤は高温多 照、乾燥時に散布する と葉害がしやすい。
	6月下旬 ～9月上旬	1. 病株はすみやかに除去する。 2. 発生の初期に次の薬剤のいずれ かを散布する。 アグリマイシン-100(水) 1000倍 キノンドー水和剤40 500～600倍 ドーマイシン水和剤 500倍 Zボルドー(水) 500～800倍	
乾腐病	植付前	1. 無病種いもを植付ける。 2. 次の薬剤のいずれかを処理する。 トップジンM粉剤DL㊟ 種いも重量の2～3%粉衣 トリフミン水和剤 50倍 種いもの芽基部に散布 ベンレート水和剤㊷ 50～100倍 種いもの芽基部に散布	未熟有機物の多い圃 場やアルカリ土壌で発 生しやすい。 ㊟:チオファネートメチル含有剤 ㊷:ベニシ含有剤 ㊟を 使用した場合には同じ 作での㊷は使用しない こと。その逆も同様(種 子への処理及び塗布処 理を除く)。
白絹病	植付時	1. 発病畑は消毒する（土壌消毒の項 参照）。 2. 無病種いもを植付ける。	7～8月の盛夏に発生 が多い。
	培土時	・ 次の薬剤を株元散布する。 ユニフォーム粒剤 9 kg/10a	
	生育期	・ 次の薬剤を株元灌注する。 リゾレックス水和剤 1000倍液 3L/m ²	
アブラムシ 類	培土時 生育期	・ 次の薬剤のいずれかを散布する。 アドマイヤー1粒剤 培土時(株元土壌混和) 3～6kg/10a 生育期(茎葉散布) 6 kg/10a スミチオン乳剤 1000倍	

コンニャク（野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ネコブセンチュウ	収穫時	・種いもは、センチュウの寄生していないものを選ぶ。	
	定植前	1. 土壌消毒をする（土壌消毒の項参照）。 2. 次の薬剤を全面に施用して土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 25kg/10a	